茨城・森から家 Net 事務局

『常陸・結の家』令和4年度地域型住宅グリーン化事業に関する 書類提出について

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

4月27日(水)に令和4年度地域型住宅グリーン化事業の発表が有り(補助金額 長寿命型100万円~) 当会でも『常陸・結の家』が令和4年度も採択になるように準備を日々整えております。

ここで、**令和 4 年度地域型住宅グリーン化事業のグループ構成員の登録**をしたいと思います。令和 4 年度地域型住宅グリーン化事業を活用したい原木・製材・プレカット・流通・設計・施工の方の登録をお待ちしております。既存会員様は令和 3 年度のグリーン化事業の情報を元にこちらで施工申込書、施工以外申込書を郵送します。事業者名、所在地、メールアドレス(必須)等登録録項目に間違いがなければ申込書を記入しての郵送、FAX 又はメールでの提出をお願いします。

なお、必要書類の受付日を誠に勝手ながら令和4年5月31日(火)(必着)迄とさせて頂きます。

<u>茨城・森から家 NET にグリーン化事業の登録をした場合はその他のグループのグリーン化事業の登録はできません。グリー</u>ン化事業の登録ができるグループの数は 1 グループに限ります。

記

登録方法

1.登録したい方は<u>登録必要書類 、</u> (下記参照)を茨城・森から家 Net へ<u>郵送又は FAX、メール</u>で提出して下さい。その後、<u>施工事業者様のみ、承認依頼メールを送信しますので『施工事業者の登録承認ページ』からログイン後、承認して初めてグリーン化事業の構成員登録となります、ご注意ください。</u>

令和4年度地域型住宅グリーン化事業 施工事業者 登録について参照

施工事業者以外で登録の事業者様は施工以外の申込書を提出したら登録は終わりです。

2.その後、年会費の振込をお願い致します。

令和4年度地域型住宅グリーン化事業グループ構成員の登録必要書類

令和4年度地域型住宅グリーン化事業に施工として登録したい方

1複数の業種に登録したい方は の書類もお願いします。

・令和4年度地域型住宅グリーン化事業 施工 申込書 2枚

令和4度地域型住宅グリーン化事業に原木・製材・プレカット・流通・設計のどれか又は複数業種に登録したい方

・令和 4 年度地域型住宅グリーン化事業 施工業者以外 申込書 1 枚

常陸・結の家は合法木材制度を利用してのグループ申請になりますので合法木材事業者認定は必須となります。

必要事項を記入後、令和4年5月31日(火)迄に必ず、 を郵送又はFAX、メールで提出して下さい。

書類送付先:〒310-0826 茨城県水戸市渋井町 50番地 茨城・森から家Net 事務局宛

(URL http://morikaraie.net/index.html) T E L 029-221-3116 F A X 029-353-8882

(メールアドレス <u>morikaraie@ibamoku.co.jp</u>)

<u>令和4年度地域型住宅グリーン化事業に</u> 施工・流通・プレカットのいずれかで登録したい方のみ対象

令和4年5月

茨城・森から家 Net 事務局

TEL029-221-3116 FAX029-353-8882

令和 4 年度 年会費納入のお願い

拝啓 会員様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、当会へのご協力とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。グリーン化事業の登録等いつもありがとうございます。

早速ですが会員様の会費の納入をお願い申しあげます。

年会費と納入方法は下記の通りです。

なお、誠に勝手ながら納付期限は 6 月 10 日(木)までとさせていただきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。

なお、令和 4 年度に入会金、年会費を既にお支払いいただいた方は再度の納入は必要ありませんので、本案内をご容赦ください。

敬具

新規会員(令和4年度に新規に入会した方、)

入会金 10,000 円 + 年会費 10,000 円 = 20,000 円

既存会員(一度、当会を退会した方も対象です。)

年会費 10,000 円

恐れ入りますが、振込手数料は会員様負担にてお願い致します。

現金にての支払いも可です。ただし、茨城・森から家 Net への持参をお願い致します。

<u>令和4年度地域型住宅グリーン化事業に 原木・製材・設計 のいずれかのみに登録したい</u> 場合は入会金・年会費の納入は必要ありません。

<u>令和4年度地域型住宅グリーン化事業に登録しない予定の事業者様は、年会費等の振込はしない</u>ようお願いします。その場合は退会扱い(常時再入会可能)となりますのでご留意ください。

振込先

フリガナ イバラキモリカライエネット ジムキョクチョウ アジマカズヒサ

口座名 茨城・森から家Net 事務局長 安島 和久

常陽銀行 銀行コード 0130 下市支店 店番コード 032

普通口座番号 1766470

令和4年度地域型住宅グリーン化事業 施工 申込書1

該当欄に記入して令和4年5月31日(火)迄に郵送、FAX又はメールのいずれかで提出してください。

登録はWeb上で行うのでメールアドレスは必須です。 既存会員様で令和3年度グリーン化事業を施工で登録した方は、下記の2.令和元年度... 3.令和2年度... 5.活用実績戸数の平成27年~ 令和3年、合計戸数の記入は任意(色付箇所)です。(令和3年度グリーン化事業時に茨城・森から家Netで把握してるため)

1.本社の住所等の確認をします。事	業者名	<u></u>	長者名	郵便	番号、	所在t	也、電	話番号	<u></u>	ルア	・レスを	正確	に記入	して下	<u>-</u> さい。	
1.本社の住所等の確認をします。 事業者名、代表者名、郵便番号、所在地、電話番号、<u>メールアドレス</u>を正確に 記入して下さい。 法人は会社謄本等に記載している、所在地を正確に記入をお願い致します。事業者名等に間違いがあると補助事業が利用できない場合があります。																
事業者名						郵便	番号									
(ふりがな)																
代表者名						電話	番号									
 所在地						メール	アドレス									
担当者名																
<u></u>																
2.令和元年 2019年(1月~12月) 0戸の場合は0記入 未記入の場合は0戸									告 長	期優日	良等の	実績	を記り	へして	下さい	١,
1.元請新築住宅供給戸数		-5.e			戸	_			エネル	ギー信	E宅戸数	数				戸
2.そのうちの木造長期優良住宅戸数					戸											
3.そのうちの木造認定低炭素住宅戸数					戸											
3.令和2年 2020年(1月~12月)(0戸の場合は0記入 未記入の場合は0戸									長其	月優良	等の	実績を	記入	してて	 っさい。	
1.元請新築住宅供給戸数	C 3-35.	010.732	31000	. , ^	 				エネル	ギー住	宅戸数	数				戸
2.そのうちの木造長期優良住宅戸数					/											,
3.そのうちの木造認定低炭素住宅戸数					戸											
4.令和3年度 2021年(1月~12月 0戸の場合は0記入 未記入の場合は0戸	,								造 長	長期優	良等(の実績	責を記	入して		, I.
1.元請新築住宅供給戸数					戸	4.その	うちの)ゼロ	エネル	ギー信	宅戸数	数				卩
2.そのうちの木造長期優良住宅戸数					戸											
3.そのうちの木造認定低炭素住宅戸数					戸											
5.平成27年~令和3年度地域型付 0戸の場合は0記入 未記入の場合は0戸					灯する	補助郐	金(詳細	細下訂	己参照	()の活	5用実	績戸数	数を記	入して	こくださ	٤١١°
V/ V/ W				•	平成2	29年度	平成3	0年度	令和元	元年度	令和2	2年度	令和:	3年度	合計	戸数
1.長寿命型(長期優良住宅)		戸		戸		戸		戸		戸		戸		戸		戸
2.高度省エネ型(認定低炭素住宅)		戸		戸		戸		戸		戸		戸		戸		戸
3.ゼロエネルギー住宅型		戸		戸		戸		戸		戸		戸		戸		戸
平成27年~令和3年度地域型住宅グリーン化事業に関する補助金とは ・平成27年度地域型住宅グリーン化事業 ・平成28年度地域型住宅グリーン化事業(補正) ・平成29年度地域型住宅グリーン化事業 ・平成30年度地域型住宅グリーン化事業 ・令和元年度地域型住宅グリーン化事業 ・令和元年度地域型住宅グリーン化事業 ・令和2年度地域型住宅グリーン化事業 ・令和3年度地域型住宅グリーン化事業 ・で、会和2年度地域型住宅グリーン化事業(補正含む) ・令和3年度地域型住宅グリーン化事業で補助金を利用した戸数をそれぞれの欄に記入をお願いします。 6.平成24年度から実施されている「住宅省エネルギー技術講習会(施工技術講習・設計者講習会)」の受講があれば 下記の欄に御社内の修了済人数を記入してください。また別途定める省エネ講習会に参加予定人数を記入してください。 1.省エネ講習修了済 「2.別途予定省エネ講習受講予定」 名 (未記入可) 「改正建築物省エネ法オンライン講座」を指します。																
			令和4	4年度 ¹	地域型	単住宅グ	ブリーン	ン化事	業 施	工庫	1込書2	·も記 <i>)</i>	くお願い	いしま [^]	す。	

書類送付先:〒310-0826 茨城県水戸市渋井町50番地 茨城·森から家Net 事務局宛 TEL029-221-3116 FAX029-353-8882 (HPURL http://morikaraie.net/index.html) (メールアドレスmorikaraie@ibamoku.co.jp)

令和4年度地域型住宅グリーン化事業 施工 申込書2

該当欄に記入して令和4年5月31日(火)迄に郵送、FAX又はメールのいずれかで提出してください。

	ΛĒ	「寿会刑」 巨钳傷	・ ・良住宅)・高度省エネ型(低炭素)、ゼロ	エカリ	ルギー仕宅刑
の利用予定戸数を記入して下さい。 <u>10</u> 5				エイノ	レナーは七室
00利用が定尸数を記入して下され。 <u>107</u> この欄が未記入場合、事務局で判断し			が惟夫にてるる一致! 即然八		
この欄が不記八場合、事務局で判断の 長寿命型 長期優良住宅(ZEH水準)	ል ሃ	0	長寿命型 長期優良住宅		
	出心击				
【断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上	月J <i>沙</i> 戏	PEIU.8以下	【9月30日までに交付申請が確実なもの】		戸
の利用戸数		戸	の利用戸数		戸
上記の内、地域材の利用戸数			上記の内、地域材の利用戸数		
上記の内、三世代の利用戸数	1	戸	上記の内、三世代の利用戸数	1	戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数		戸	上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数		戸
上記の内、バリアフリー対策の利用戸数		戸	上記の内、バリアフリー対策の利用戸数	***	戸
未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算			未経験工務店 2 補助額 110万円+各種加		
経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額			経験工務店 3 補助額 100万円+各種加算	額	
ゼロエネルギー住宅型(長期対応)			ゼロエネルギー住宅型(構造計算又は	耐震等	『級2水準以上)
【認定長期優良住宅取得】			【断熱材、太陽光パネル等の荷重を見込んだ構	造計算	算等】
の利用戸数		戸	の利用戸数		戸
上記の内、地域材の利用戸数		戸	上記の内、地域材の利用戸数		戸
上記の内、三世代の利用戸数	1	戸	上記の内、三世代の利用戸数	1	戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	1	戸	上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	ı	戸
上記の内、バリアフリー対策の利用戸数		戸	上記の内、バリアフリー対策の利用戸数		戸
未経験工務店 2 補助額 150万円+各種加算	額	-	未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加	算額	
▲ 経験工務店 3 補助額 135万円+各種加算額	į		経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算	額	
ゼロエネルギー住宅型			高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEHz)	火準+ 耐	付震考慮)
			【ZEH水準 かつ (構造計算又は耐震等級2水		·
の利用戸数		戸	の利用戸数	. ,,_	
上記の内、地域材の利用戸数		戸	上記の内、地域材の利用戸数		戸
ト記の内 三世代の利用戸数					
上記の内、三世代の利用戸数	1	戸	上記の内、三世代の利用戸数	1	戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	1	戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	1	戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数		戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数	1	戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算	額	戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	1	戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数	額	戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数	1	戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額	額	戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額	1	戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水塔	額	戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅	1	戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水湾 【断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上	額	戸 戸 戸 戸 BEI0.8以下]	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの]	1	戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水湾 【断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上に の利用戸数	額	戸 戸 戸 BEI0.8以下]	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数	1	 戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水湾 「断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上に の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数	額	月 戸 戸 BEI0.8以下】	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数	1	 戸 戸 戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水準 「断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上に の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数	割(調)	月 戸 戸 戸 BEI0.8以下】 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数	1	
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水準 断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上に の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	額	戸 戸 戸 BEI0.8以下〕 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数		, 戸 戸 戸 戸 戸 戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水塔 断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上i の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数	割(調)	月 戸 戸 戸 BEI0.8以下】 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数		
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水準 断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上に の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数	割(調)	戸 戸 戸 BEI0.8以下〕 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数		戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水塔 断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上i の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数	割(調)	戸 戸 戸 BEI0.8以下〕 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数		戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算 経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水塔 断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上i の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数	額 () () () () () () () () () (戸 戸 戸 BEI0.8以下) 戸 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額	1	戸戸戸戸戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水塔、断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上にの利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数油助額 90万円+各種加算額	額	戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額	1	戸戸戸戸戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水準抵熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上部の利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、担談材の利用戸数上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数補助額 90万円+各種加算額	額	戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額	1	戸戸戸戸戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水準抵熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上部の利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、担談材の利用戸数上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数補助額 90万円+各種加算額	割割 1 以下	デーフラー アランド アラッド アラッド アラッド アラッド アラッド アラッド アラッド アラッ	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額 たし、かつ再生可能エネルギー等を除いた一次に が、準をいいます。	1	
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水湾「断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上前の利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数土記の内、パリアフリー対策の利用戸数補助額 90万円+各種加算額 ZEH 水準とは、断熱等性能等級5 [5地域UA値0.6省エネ基準の基準値から 20 以上削減 BEI0.8 以 1 加算枠 金額 地域材加算 上限20万円、三	額 	戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額 たし、かつ再生可能エネルギー等を除いた一次に が、準をいいます。	1にネル=	, 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水湾「断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上前の利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数土記の内、パリアフリー対策の利用戸数補助額 90万円+各種加算額 ZEH 水準とは、断熱等性能等級5 [5地域UA値0.6省エネ基準の基準値から 20 以上削減 BEI0.8 以 1 加算枠 金額 地域材加算 上限20万円、三	額	月 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 戸 だ となる省エネ性能の た た た た た た た た た た た た た た た た た た た	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、パリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額 たし、かつ再生可能エネルギー等を除いた一次の水準をいいます。	1にネル=	, 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算額経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水準、断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上での利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数イ助額 90万円+各種加算額 ZEH 水準とは、断熱等性能等級5 [5地域UA値0.6省エネ基準の基準値から 20 以上削減 BEI0.8 以1 加算枠 金額 地域材加算 上限20万円、三注意 加算枠 地域材、三世代、若者・子育2 未経験工務店とは、グリーン化事業 補助金	額	戸戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額 たし、かつ再生可能エネルギー等を除いた一次で水準をいいます。 、若者・子育て世帯加算 上限30万円 です。なお、バリアフリーは併用可能「加算枠合計	1にネル=	, 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸
上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数上記の内、パリアフリー対策の利用戸数未経験工務店 2 補助額 140万円+各種加算額経験工務店 3 補助額 125万円+各種加算額高度省エネ型 認定低炭素住宅(ZEH水湾「断熱性能等級5以上+一次エネルギー20%以上前の利用戸数上記の内、地域材の利用戸数上記の内、三世代の利用戸数上記の内、ボリアフリー対策の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数上記の内、バリアフリー対策の利用戸数油助額 90万円+各種加算額 ZEH 水準とは、断熱等性能等級5 [5地域UA値0.6省エネ基準の基準値から 20 以上削減 BEI0.8 以1 加算枠 金額 地域材加算 上限20万円、三注意 加算枠 地域材、三世代、若者・子育	額	戸戸	上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 上記の内、バリアフリー対策の利用戸数 補助額 90万円+各種加算額 高度省エネ型 認定低炭素住宅 [9月30日までに交付申請が確実なもの] の利用戸数 上記の内、地域材の利用戸数 上記の内、三世代の利用戸数 上記の内、若者・子育て世帯の利用戸数 補助額 70万円+各種加算額 たし、かつ再生可能エネルギー等を除いた一次で水準をいいます。 、若者・子育て世帯加算 上限30万円 です。なお、バリアフリーは併用可能「加算枠合計	1にネル=	, 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸 戸戸

書類送付先: 〒310-0826 茨城県水戸市渋井町50番地 茨城・森から家Net 事務局宛 TEL029-221-3116 FAX029-353-8882 (HPURL http://morikaraie.net/index.html) (メールアドレスmorikaraie@ibamoku.co.jp)

令和4年度地域型住宅グリーン化事業 施丁 申込書 別紙1

【各種加算額について】

・「地域材加算」とは

主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上において、「地域材」を使用する場合は、20万円を上限に補助金額を加算します。 茨城・森から家Netでは 主要構造材(柱・梁・桁・土台)の地域材60%以上利用が基本です。

・「三世代」 三世代同居対応住宅とは

複数世帯の同居に対応した住宅をいいます。

要件としては、調理室、浴室、便所又は玄関のうちいずれか2つ以上を住宅内に複数個所設置することです。(細かい基準有り) 30 万円 を上限に 補助金額を加算します。

・「若者・子育て世帯」とは

建築主が年度当初(令和4年4月1日)時点で40歳未満の場合、又は、年度当初時点もしくは 交付申請時点で建築主が18歳未満の子どもと同居している場合、30万円 を上限に 補助金額を加算します。

・「バリアフリー対策」とは

第三者機関により住宅性能表示制度の高齢者等配慮対策等級(専用部分)の等級3以上と評価された住宅の場合、1戸当たり30万円を上限に補助金額を加算します。

適合確認方法としては、以下があります。

・高齢者等配慮対策等級(専用部分) 等級 3 以上を評価した設計住宅性能評価書 + 建築士による 工事内容適合確認・高齢者等配慮対策等級(専用部分) 等級 3 以上を評価した建設住宅性能評価書なお、手すり設置に対する他の補助金との併用は不可となります。

「地域材加算」、「三世代同居加算」、「若者・子育て世帯加算」の併用は不可としますが、「バリアフリー対策」加算は併用可能ただし加算の上限は 40 万円とします。

【注意点及び令和3年度事業からの変更点】

下記、地域型住宅グリーン化事業評価事務局のホームページ参照 URL

http://chiiki-grn.jp/home/tabid/289/index.php

- ・地域住文化 加算について利用したい施工業者様は一度茨城・森から家NetにTELにて連絡してください。
- ・建設地に係る制限について

土砂災害特別警戒区域に掛かっている場合は、補助対象とすることは出来ません。

6.2 事業スケジュール

現時点で想定している年間のスケジュールは以下のとおりです。但し、今後の事業の進捗状況 によっては、変更となる場合があります。

- 〇グループ採択日:令和4年6月下旬(予定)
- Ⅰ期(事前枠付与方式):グループ採択日~10月末
- ○Ⅱ期(先着順方式):11月前半~
- ○Ⅱ期における予算充当時期の目安
 - ・11 月前半:初回充当(I期末までに物件登録ツールに登録されなかった額を充当)
 - ・12 月中旬:追加充当(I期末までに物件登録ツールに登録されたが 11 月 20 日に失効した額を充当)
- 〇完了実績報告〆切:令和5年2月6日(月)まで

令和4年度地域型住宅グリーン化事業 施工業者以外 申込書

該当欄に記入して令和4年5月31日(火)迄に郵送又はFAXかメールのいずれかで提出してください。

1. 本社 の住	所等の確認をします。 事業者名、代表者名、郵便番号、所在地、電話番号 を <u>正確</u>	<u>に</u> 記入して下さい。
法人は会	社謄本等に記載している、所在地を正確に記入をお願い致します。事業者名等に間違いがあると補助事業	着が利用できない場合があります 。
今年度	よりプレカット事業者の場合も本社所在地の記載で可となりました。	
事業者名	郵便番号	
(ふりがな)		
代表者名	電話番号	
本社所在地		
担当者名		
2.令和4年/	〒	表可
	. 原木供給	
	□ 製材・集成材製造・合板製造	
	. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	
	・プレカット	
	. 設計	
設計	こ登録したい方は省エネ講習の修了済か別途定める省エネ講習会受講予定かどう;	 かチェックをお願いします。
	省エネ講習修了済(住宅省エネルギー技術講習会)	
	別途定める省エネ講習会 「改正建築部物省エネ法オンライン講座」を	 を指します。
	. 木材を扱わない流通	
	. ~ 以外の業種(畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等)	

原木、製材等、建材、プレカットに登録したい会員様へ

常陸・結の家は合法木材制度を利用してのグループ申請になりますので合法木材事業者認定は必須となります。

(メールアドレス <u>morikaraie@ibamoku.co.jp</u>)

【参考: 施工事業者の電子承認の流れ】

- グループ事務局による承認依頼の実施 グループ事務局が「施工事業者への承認依頼」を実施します。
- 2) 登録されたメールアドレスへ承認依頼のメール配信 施工事業者へ下記のメールが配信されます。

【適用申請書入力ツール】施工事業者承認依頼通知



AAA様

下記の、グループ事務局より施工事業者として登録されました。

グループ名 日本の家

事務局事業者 木を活かす建築推進協議会

該当するグループへの登録に関して、 「承認」「拒否」の処理を行ってください。

ログインID : o7dz_40825 パスワード : 21cu4056 ログイン ID とパスワードになります

ログイン後にもう一度ワンタイムパスワードの入力が求められます。 ワンタイムパスワードは、ログイン後に同じアドレスに自動で送信されます。

ログイン後は、しばらくお待ちください。

令和 4 年度地域型住宅グリーン化事業(評価)のホームページのシステム総合 TOP のページよりログインください。

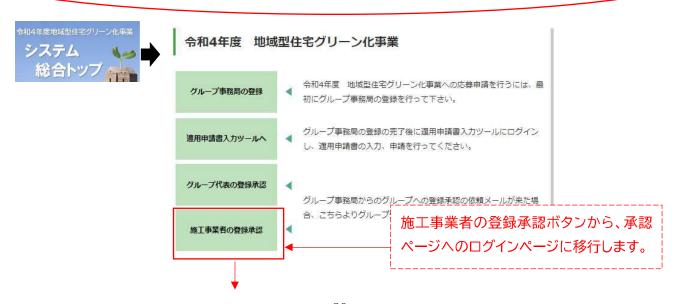
※システムでのセキュリティの関係上、2重のパスワード入力が求められます。 お手数ですがご協力をお願いします。

※このメールの送信アドレスは送信専用です。

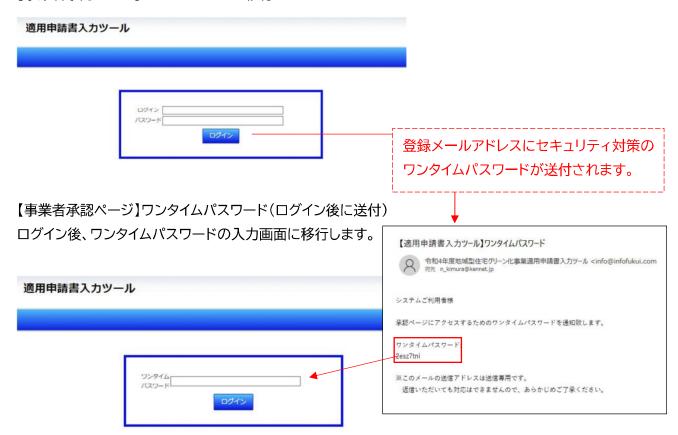
返信いただいても対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

H P 地域型住宅グリーン化事業(評価)に あります。http://chiiki-grn.jp/tabid/284/index.php

3) メールを確認後、施工事業者の承認ページへログインします。
施工事業者の承認ページへは、評価事務局のホームページの左横のバナー「令和4年度地域型住宅グリーン 化事業 システム総合TOP」よりグリーン化事業 システム総合TOPへ移行ください。



【事業者承認ページ】ログインページに移行



メールに記載されている、ワンタイムパスワードを入力してログインしてください。

事業者情報の確認後、承認、拒否を選択



実績情報の確認、修正、入力

令和3年度の施工実績等の情報を入力してください。

種別	令和3年度实验	直近3年平	鸦	
元請の新築住宅供給戸数	P	F		
うち木造の長調優良住宅	F			
うち木造の認定低炭素住宅	P	戸		
うち木造のゼロエネ住宅	F	戸		
補助金の活用実績 ※H27~R3年度末(補正・追加	予算含む)までのグリーン化事業活用戸数が、4戸以	上で活用実績ありとなります。	[<u></u>
長期優良住宅の補助金の活用実績	□ಹರಿ		各実	績の確認、
ゼロエネ住宅の補助金の活用実結	□あり		入力	を行ってください。
※R2年、R3年の実績は交付申請情報を元に算出し	3		L	
省工本講習会の受講実績				
省工才請習修了済	0			
別途定める省エネ諸習会を受請予定	0			

記載内容の確認、編集、追記を行い「承認」「拒否」の対応を行ってください。

省エネ講習会の受講美植
省工本講習終了第

省工才講習修了第					
別途定める省エネ講習会を受講予定					
	—B	保存	承認	拒否	

承認・拒否の対応を行った後に下記メールが配信されます

【適用申請書入力ツール】承認されました。



令和4年度地域型住宅グリーン化事業適用申請書入力ツール <

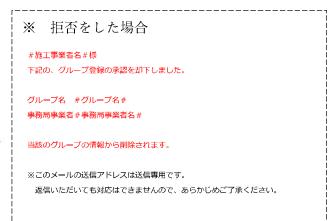
下記の、グループに施工事業者として登録されました。

グループ名 日本の家

事務局事業者 木を活かす建築推進協議会

※このメールの送信アドレスは送信専用です。

返信いただいても対応はできませんので、あらかじめご了承ください。



以上で、施工事業者の承認は完了します。

【参考(4):承認依頼に関するメールが届かない場合】

承認依頼メール・ワンタイムパスワードの配信メールが届かない場合、メールアドレスが間違っているか、 迷惑メールになっている可能性があります。

利用されているメールソフト、メールサービス、セキュリティソフトの設定によっては、自動的に「ゴミ箱」や「迷惑メールフォルダ」に移行される場合があります。

「ゴミ箱」、「迷惑メールフォルダ」に、本システムからのメールが紛れていないか確認ください。確認した結果、メールが届いていない場合は、「迷惑メール」と判断されている可能性があります。

メールアドレスの再確認か施工事業者のメール受信設定を確認してください。

- ▼ メールアドレスが間違えていた場合承認依頼取消を行い、正しいメールアドレスを入力し再度、承認依頼処理を行ってください。
- メールアドレスが正しいが、メールが届かない場合 下記項目を確認して、対応してください。

PC メール(企業アドレス、Gmail、Yahoo!、各プロバイダなど)

迷惑メールフォルダの確認

※ メールサービスによっては設定をしていなくても自動的に迷惑メールフォルダに振り分けられている可能性があります。迷惑メールとなっている場合は、解除の対応を行ってください。

なりすましメール拒否設定の確認

設定を解除するか、ドメイン「@chiiki-grn.jp」からの受信を許可してください。

docomo / au / SoftBank / Y!mobile

迷惑メールの対策などで、ドメイン指定や受信拒否設定を行っている場合、メールが受信できない場合があります。メールの受信ができる様に「@chiiki-grn.jp」のドメイン指定をお願い致します

PC からのメール受信設定の確認

PC からお送りするメールを受信可能な状態へご変更ください。

※ 令和4年度は、URL付のメールは送信しておりません。